



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.02

令和3年7月28日

発行：CS担当

【教育目標】小樽の未来をつくる 北陵生の育成 【重点】「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

第2回 学校運営協議会で1学期の学校運営を振り返りました

7月21日（水）の1学期終業式後に、第2回の学校運営協議会を行いました。本校は、学校運営協議会制度を導入し、^{コミュニティスクール}「C」・「S」となって今年で3年目となります。協議会では、はじめに岡本校長から話があり、「4月の赴任以来、各学級の授業を見ている。よい授業が日常的に行われており、本校の子ども達は幸せだ」と話がありました。また、齊藤主幹教諭から1学期の主な活動の様子を振り返って話があり、庄司教頭から今年度の学校評価計画について説明がありました。その後、各委員から質問やご意見などをいただきました。

第2回 学校運営協議会 協議事項

- ▶ 1学期の学校運営の総括、2学期の学校運営に向けて
- ▶ 令和3年度 学校評価計画について
- ▶ 地域、保護者からのご意見、情報提供、その他

運営協議会の中で頂いたご質問・ご意見等



【1人1台端末（クロームブック）について】

○使ってみてどうか？ 使わない教科はあるか？

⇒機器の操作については、小学校から経験しており、子どもたちはすぐ覚える。

⇒例えば書道や音楽でも全国では様々な実践例がある。

端末を使用するのは手段であって目的ではない。書いて覚えるよさもある。デジタル化のいい所を活用して効果的な場面で使っていく。

【課題解決型・コミュニケーションの力が大人には必要だ。どのように育てているか？】

⇒本校では「授業のパッケージ」という基本的な授業のすすめ方があり、その中に話し合い活動が含まれている。これは小学校とも連携しており、子ども達には話し合う習慣がある。例えば、美術では

「他人と自分の絵の違いは何か」という問いから始め、話し合い活動を位置づけた授業を行っている。

⇒昔に比べると今の子どもはやることが多く、自分ならついていけたらと思う。1つでも学習内容を身に付けてほしい。ついていけない子へのフォローも忘れずに。

【PTA・小中3校の連携について】

⇒登下校の見守り活動を通じた地域とのつながりが財産である。ネット社会の中、とまどいや迷いもあるが、人とのつながりを大切にしたい。

【いじめ・不登校について】

⇒クロームブックによるオンライン面談を行っている。アンケートや教育相談を通して把握したいいじめにつながるものは、家庭と連絡をとりながら、すべて解決に向けて取り組んでいる。

ご退任のお知らせ

美野本明美委員が、ご都合により7月末をもちましてご退任となりました。昨年度に就任されて以来、地域と学校の協働活動について貴重なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。